

電 気 事 故 速 報 (記載例)

令和 4 年 9 月 2 日

中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課 御中

発電設備の所在地 ○○県○○市○○区○○ ○丁目○番地

発電設備の名称 ○○第一発電所

電気関係報告規則第3条の2第2項の規定により報告します。

1. 事故発生日時 令和 4 年 9 月 1 日 午前 9 時 1 5 分 (令和4年9月2日9時覚知)

※事故の発生を知った日時 (覚知日時) と事故発生日時が異なる場合は、両方併記します。

2. 発電設備 ①太陽電池発電設備

②風力発電設備

出力電力: 45 k W

※太陽電池発電設備又は風力発電設備に丸を付け、発電設備全体の出力電力を記載します。

3. 事故が発生した電気工作物

逆変換装置 (PCS) 1台 (定格出力10kW) ○○電気製 2013年製

※事故が発生した電気工作物を具体的に記載する (例えば、「太陽電池モジュール」、「逆変換装置 (PCS)」、「風車ブレード」など)。種別、製造会社、型式、製造年等が分かれば、あわせて記載します。

※逆変換装置 (PCS) の場合、破損したものの出力を記載します。

4. 事故の種類 ①感電死傷事故 (感電死亡、感電負傷、感電以外の死傷事故)

②電気火災事故

③物損等事故 (他者への損害事故)

④破損事故 (設備の破損事故)

※該当する事故に○印を入れます。事故が2つ以上にわたって発生した場合は、全ての事故に○印を入れます (例えば、感電事故に伴い波及事故が発生した場合はそれぞれの事故に○印を付けます)。

5. 事故の概要 (必要に応じ図面等を添付)

R4.9.1 9:15 PCS1台が運転停止 (警報履歴より)。

R4.9.2 9:00 PCS1台からの警報を受けて管理会社の作業担当者が現場を確認し、PCS本体のAC側遮断器がトリップし、PCS内部の基盤及びコンデンサが焼損していることを確認した。

メーカーに連絡したところ交換が必要と判断された。

※事故の概要について、報告者が知り得た範囲で記載します。参考となる資料 (写真、構内図、仕様書等) がある場合はあわせて添付します。

6. 被害者の情報 (死傷者がいる場合に記入)

①性別: 男・女 ②年齢: 歳 ③区分: 作業員 (所属) ・公衆

※死傷者がいる場合に記入する。死傷者が2人以上となる場合は全員分記載します。

7. 事故の原因

※報告者が知り得た範囲で記載する。不明の場合でも、できるだけ事故の状況から推察される原因について記載します。

8. 応急処置

PCS本体のAC側及びDC側の遮断器を開放した。

※電気工作物の応急復旧等について記載します。

9. 復旧対策

PCS本体を代替品と交換予定。

※本復旧の実施方法、内容について記載します。

10. 復旧予定日時 未定（メーカーと調整中）

※応急復旧、本復旧の日時（予定を含む）について記載します。

11. 報告者 所属：〇〇電気保安 〇〇営業所

氏名：〇〇 〇〇

連絡先電話番号：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連絡先E-mailアドレス：[〇〇〇@〇〇. 〇〇. 〇〇](mailto:〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇)

※報告担当者の所属及び氏名を記入します。

※連絡がとれる電話番号及び電子メールアドレスを必ず記入します。

報告先： 中部近畿経産産業保安監督部 近畿支部 電力安全課

電子メール：exl-kinki-denki-jiko@meti.go.jp

FAX番号：06-6966-6092 電話番号：06-6966-6056